



平成21年 平塚市消防出初式

23議案を原案可決 平塚市景観条例など

12月定例会

審議の概要

平成二十年市議会十二月定例会は、十一月二十五日から十二月十八日まで、会期二四日間で開催しました。
今定例会では、景観法の規定に基づく手続等やその他の良好な景観の形成について必要な事項を定める「平塚市景観条例」を制定する議案、産科医療補償制度の開始に伴い、出産育児一時金の支給額を改定する「平塚市国民健康保険条例の一部を改正する条例」や一般会計および特別会計の補正予算、人権擁護委員

の推薦に同意を求める議案など二三案件が市長から提案され、報告を除く二議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。
議員提出の議案では、「神奈川県公共施設における受動喫煙防止条例(仮称)」骨子案に対する意見書の会議案を審議し、原案どおり可決しました。
また、十月の決算特別委員会において審査を行った平成十九年度の一般・特別会計および病院事業の各決算を認定しました。

また、二十年度からの国の医療保険制度改正や平成二十年十月からの県補助制度の改正など、国、県において制度の拡充が図られています。
このことから、本市の厳しい財政状況と制度運営の継続性を考慮しつつ、子育て家庭への医療費助成をより充実するため、通院対象年齢を小学校三年生まで引き上げ、小学校就学前小児の養育者の所得制限を廃止するため「平塚市小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」が市長から提案されました。

一般会計補正予算 六億三〇〇万円余を追加

今定例会では、一般会計補正予算六億三〇〇万円九〇〇〇円をはじめ、特別会計の補正予算が市長から提案されました。議会では、いずれも原案どおり可決しました。
今回の一般会計補正予算の主な内容は、**総務費**では、新庁舎建設基本構想の策定による基本・実設計のための経費等を

措置しました。民生費では、社会福祉基金へ積み立てるための指定交付金等を計上しました。衛生費では、老人保健医療事業特別会計への繰出金等を計上しました。農林水産業費では、農道および用排水路の維持補修費等を措置しました。土木費では、生活道路等の整備費等を計上しました。消防費では、原価価格の高騰などで不足が見込まれる燃料費等を措置しました。教育費でも、小学校費および中学校費の燃料費等を措置しました。
以上の結果、一般会計予算総額は七四二億五五九一萬一〇〇〇円となり

ました。また継続費では、新庁舎建設事業の設計委託料増額に伴い継続費設定額の変更を行い、**債務負担行為**補正では、「平塚市勤労会館指定管理料」および「平塚市立軟式庭球場・桃浜町庭球場指定管理料」を追加しました。

小児医療費の助成条例の改正 対象年齢の引上げなど

平成七年十月に開始された本市の小児医療費助成の影響は、我が国に波及したことは周知のとおりです。将来の展望が見定めづらい時代ではありますが、市民の皆様が心身ともに安心して暮らせるまちとなるよう、課題解決に向け議員一同、鋭意努力してまいりたいと考えております。
本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます。

成事業は、これまで対象年齢の拡大などが行われてきましたが、一層の制度充実が求められています。
議会では、両氏とも適任者として同意しました。

新年のごあいさつ

市議会議長 落合 克宏



新年明けましておめでとうございます。
昨年本市では「まちの

変化みえる年」として、新庁舎の建設をはじめ各種事業の構想や計画など

が策定され、変化に向けた一歩を踏み出しました。市議会においても、昨年四月の組織改革に伴い、事務局を議政局に再編して、議会機能の充実に取り組んでいるところです。さて、米国のいわゆるサブプライムローン問題に端を発した世界的経済

紙面の構成のご案内

12月定例会 議案の審議結果	1面
行財政全般	2面
まちづくり	3面
福祉	4面
行政一般	5面
決算特別委員会	6面
発言通告	7面
教育・安心安全	8面